

| |
|--|
| 課題番号：R01-094 |
| 研究課題名： スタンプ法を利用した腫瘍細胞含有率同定による凍結検体保存の至適化の検証 |
| <p><1. 研究の目的></p> <p>手術で摘出された癌組織を使用して遺伝子解析を行う場合、組織の中に含まれる癌細胞と正常細胞の比率が解析の結果に影響する重要な因子になります。そこで、この研究では、病理診断で使われている組織をスライドガラスにスタンプを押すように擦り付ける捺印細胞診標本の作製方法を利用して、解析に使用する組織の中にどのくらいの癌細胞が含まれているのかを簡単に調べるための方法を検証することを目的としています。</p> |
| <p><2. 研究対象者></p> <p>西暦 2019 年 7 月～ 2020 年 3 月に当院で手術を受けた患者さん</p> |
| <p><3. 研究期間></p> <p>倫理委員会承認後～2020年3月31日</p> |
| <p><4. 研究の方法></p> <p>(1)手術で摘出された癌組織の一部をスライドガラスに擦り付けて、細胞を評価するためのパパニコロウ染色を行う</p> <p>(2)スライドガラスに擦り付けた後の組織を使って組織像を詳細に観察するためのヘマトキシリン・エオジン(Hematoxylin Eosin:HE)染色を行う</p> <p>(3)パパニコロウ及びHE染色標本を観察して癌細胞の割合を算出する。</p> |
| <p><5. 試料・情報の項目></p> <p>「診療で採取した組織、血液をつくばヒト組織バイオバンクセンターで保管することについて のお願い」（2016年9月以降）、及び「筑波大学附属病院で診療を受けられる患者さんへ」 (2016年9月以前)により同意の得られた患者試料・情報</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 組織（対象臓器：乳腺、肺、膵臓 対象疾患：乳がん、肺がん、膵がん）</p> <p><input type="checkbox"/> 血液試料</p> <p><input type="checkbox"/> その他試料</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 臨床情報（年齢、性別、感染症の有無、診断）</p> |
| <p><6. 試料・情報の第三者への提供について></p> <p>該当なし</p> |
| <p><7. 試料・情報の管理について責任を有する人></p> <p>筑波大学附属病院 つくばヒト組織バイオバンクセンター 竹内朋代</p> |
| <p><8. 研究機関名及び研究責任者名></p> <p>筑波大学附属病院 つくばヒト組織バイオバンクセンター 竹内朋代</p> |
| <p><9. 本研究への参加を希望されない場合></p> <p>患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。</p> |
| <p><10. 問い合わせ連絡先></p> <p>筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1 所属・担当者名：つくばヒト組織バイオバンクセンター 担当 竹内朋代 電話・FAX：029-853-3715（土日祝日を除く 9～17時） メール：bank298@hosp. tsukuba. ac. jp</p> |